

2020年3月期第1四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2019年7月

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2)
- 2020年3月期決算の概要(P3)
- セグメント情報(P4)
- 営業部門(P5-6)
- アセット・マネジメント部門(P7-8)
- ホールセール部門(P9-11)
- 金融費用以外の費用(P12)
- 強固な財務基盤を維持(P13)
- 資金調達と流動性(P14)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P16)
- バリュー・アット・リスク(P17)
- 連結決算概要(P18)
- 連結損益(P19)
- 連結決算：主な収益の内訳(P20)
- 連結決算：セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P21)
- セグメント「その他」(P22)
- 営業部門関連データ(P23-26)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P27-28)
- ホールセール部門関連データ(P29)
- 人員数(P30)

エグゼクティブ・サマリー

2020年3月期第1四半期の決算ハイライト

■ 税前提利益: 748億円、当期純利益¹: 558億円、ROE²: 8.4%、EPS³: 16.48円

- 全てのビジネス部門が前四半期比で増収増益
- ビジネス・ポートフォリオの見直しや競争優位性のある分野への注力も奏功し、海外3地域全てが税前提黒字(3地域合計: 304億円)を達成

■ 3セグメントの税前提利益は463億円

営業部門

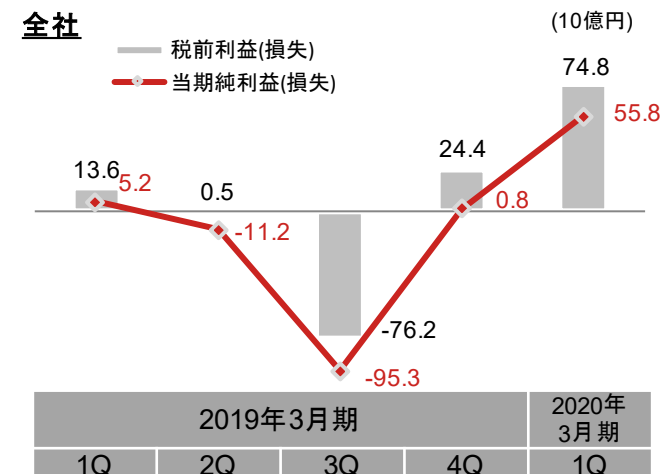
- お客様の投資マインド改善やパートナーの取り組み等を背景に、投信・債券を中心に総募集買付が回復
- 相続ニーズを捉えたラップ信託の導入等を背景に、SMA⁴残高は増加基調

アセット・マネジメント部門

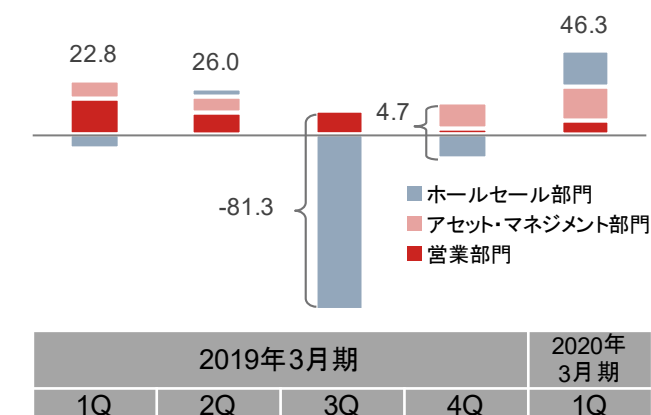
- 12四半期連続で資金流入が継続、市場要因による減少分を補い、運用資産残高は拡大
- アメリカン・センチュリー・インベストメント関連損益が貢献し、前四半期比で増収増益

ホールセール部門

- グローバル・マーケットが前四半期比で復調 ~米州フィクスト・インカムが大幅増収、日本は復調、米州エクイティも健闘
- 前四半期に計上した一時費用⁵の剥落や、コーポレート部門からの配賦費用低下等で、部門コストは減少

税前提利益(損失)、当期純利益(損失)¹の推移

3セグメント税前提利益(損失)



1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 3. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益
 5. ビジネス・ポートフォリオの見直しに伴う退職金など(84億円)

2. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出
 4. 投資一任サービスの一つで、セパレートリー・マネージド・アカウントの略

2020年3月期決算の概要

決算ハイライト

	2020年3月期 第1四半期	2019年3月期 第4四半期	前四半期比	2019年3月期 第1四半期	前年同期比
収益合計 (金融費用控除後)	3,320億円	3,013億円	+10%	2,720億円	+22%
金融費用以外の費用	2,572億円	2,769億円	-7%	2,584億円	-0.4%
税前利益	748億円	244億円	3.1x	136億円	5.5x
当期純利益 ¹	558億円	8億円	66.2x	52億円	10.7x
EPS ²	16.48円	0.23円	71.7x	1.50円	11.0x
ROE ³	8.4%	0.1%		0.8%	

1. 当社株主に帰属する当期純利益
 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益
 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

		2020年3月期 第1四半期	2019年3月期 第4四半期	前四半期比	2019年3月期 第1四半期	前年 同期比
収益	営業部門	806億円	742億円	+9%	928億円	-13%
	アセット・マネジメント部門	345億円	309億円	+12%	261億円	+32%
	ホールセール部門	1,595億円	1,422億円	+12%	1,373億円	+16%
	3セグメント合計	2,746億円	2,473億円	+11%	2,562億円	+7%
	その他(※)	603億円	521億円	+16%	137億円	4.4x
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-29億円	18億円	-	20億円	-
収益合計(金融費用控除後)		3,320億円	3,013億円	+10%	2,720億円	+22%
税前利益 (損失)	営業部門	81億円	33億円	+146%	199億円	-59%
	アセット・マネジメント部門	181億円	144億円	+26%	103億円	+76%
	ホールセール部門	200億円	-130億円	-	-74億円	-
	3セグメント合計	463億円	47億円	9.8x	228億円	+103%
	その他(※)	315億円	178億円	+76%	-112億円	-
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-29億円	18億円	-	20億円	-
税前利益 合計		748億円	244億円	3.1x	136億円	5.5x

(※) 第1四半期の「その他」に関する補足

- 経済的ヘッジ取引に関連する損益(128億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益(21億円)

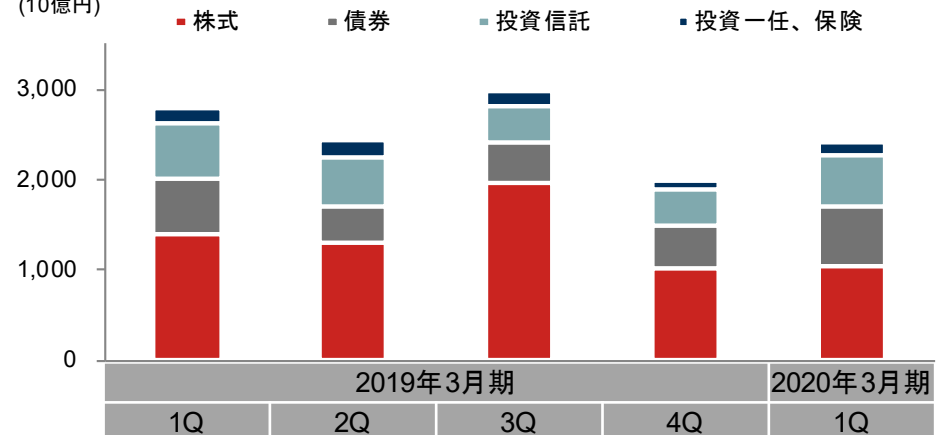
収益合計(金融費用控除後)、税前提利益

(10億円)

	2019年3月期				2020年 3月期	前四 半期比	前年 同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益合計(金融費用控除後)	92.8	85.7	86.8	74.2	80.6	+9%	-13%
金融費用以外の費用	72.9	73.5	72.7	70.9	72.5	+2%	-1%
税前提利益	19.9	12.2	14.0	3.3	8.1	+146%	-59%

総募集買付額³

(10億円)



1. ジュニアNISAを含む
3. リテールチャネルのみ対象

2. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引
4. リテールチャネル、ネット&コール、ほっとダイレクトが対象

決算のポイント

- 収益: 806億円 (前四半期比9%増、前年同期比13%減)
- 税前提利益: 81億円 (前四半期比146%増、前年同期比59%減)
- 前四半期比で増収増益
 - お客様の投資マインド改善やパートナーの取り組みもあり、投信・債券が回復
 - 業績に応じた賞与引当の増加や店舗統合に伴う一時費用でコストは増加するも、システム関連費用等は減少
- 顧客基盤

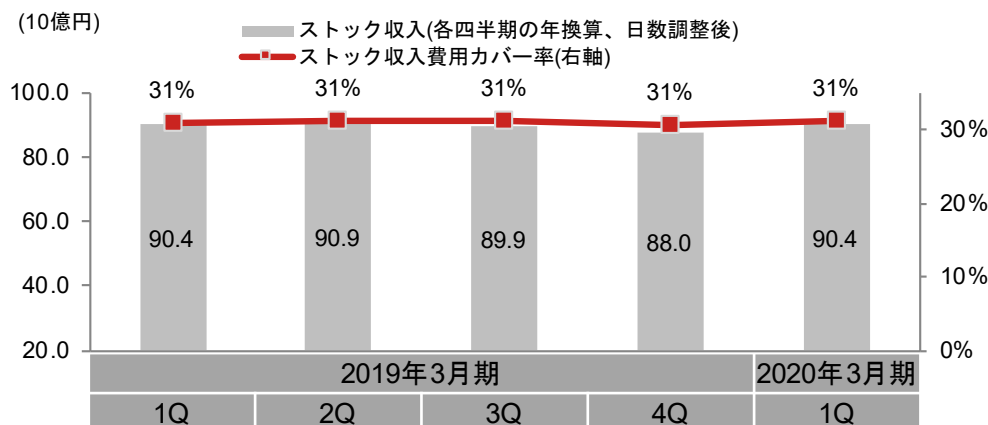
	6月末 / 1Q	3月末 / 4Q
- 顧客資産残高	113.1兆円	114.7兆円
- 残あり顧客口座数	533万口座	534万口座
- NISA開設口座数(累計) ¹	171万口座	170万口座
- 現金本券差引 ²	-1,206億円	-3,928億円

総募集買付額³は前四半期比21%増

- 株式: 前四半期比2%増
 - 日本株・外国株式ともにセカンダリー株式買付が増加
 - プライマリー株式募集額⁴(525億円、前四半期比31%減)は減少
- 投資信託: 前四半期比43%増
 - グローバル株式を投資対象とするプライマリー投信等に資金が流入
- 債券販売額は6,744億円、前四半期比42%増
 - 国内債はプライマリー債や個人向け国債などが堅調、外債は米ドル債中心に販売が増加
- 投資一任契約、保険販売額は前四半期比30%増

営業部門:お客様ニーズを捉えたサービス提供を継続

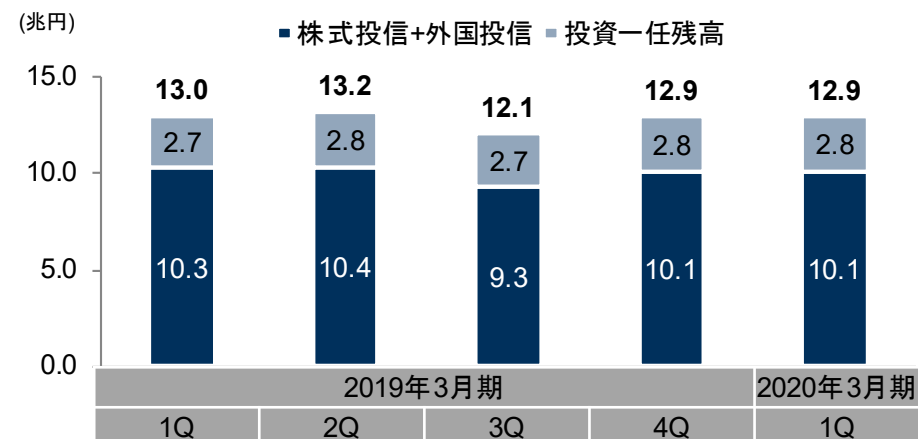
ストック収入



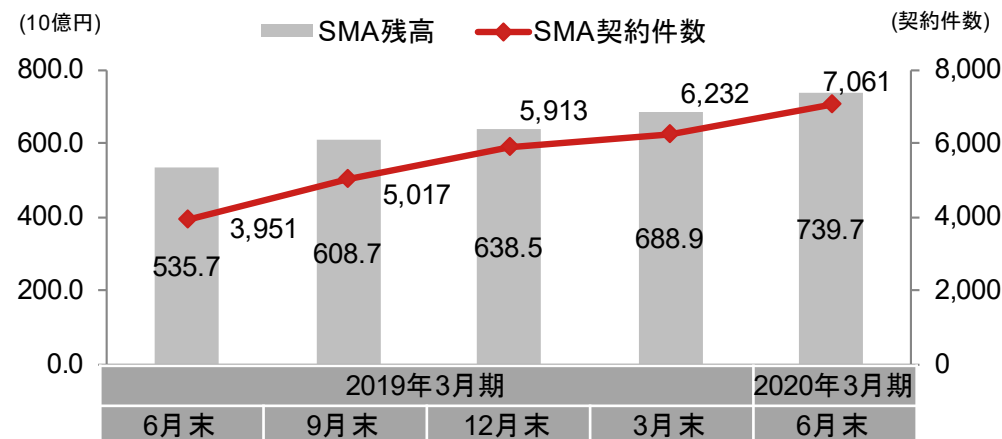
- 年換算したストック収入は904億円
- 投信: 募集買付額は増加するも、解約・出金の動きも継続
- 投資一任: ファンドラップは純減となるも、相続ニーズを捉えたラップ信託の導入などを背景にSMA³残高は増加基調

	6月末 / 1Q	3月末 / 4Q
■ ストック収入	225億円	217億円
- 投信純増 ¹	-297億円	-582億円
- 投資一任純増 ¹	-405億円	-108億円
■ 保険販売額 ²	547億円	462億円
■ 入金預り ²	1兆549億円	9,441億円

投信、投資一任残高



SMA³残高、契約件数



1. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループが対象
2. リテールチャネルのみ対象

3. 投資一任サービス商品の一つで、セパレートリー・マネージド・アカウントの略

アセット・マネジメント部門

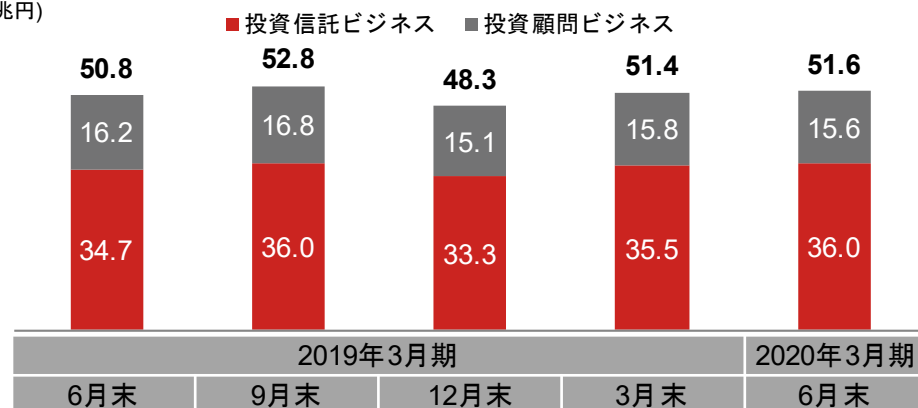
収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

(10億円)

	2019年3月期				2020年 3月期	前四 半期比	前年 同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益(除:ACI関連損益)	26.3	26.1	24.5	26.0	25.8	-1%	-2%
ACI関連損益	-0.2	-1.5	-8.3	4.9	8.7	+77%	-
収益合計(金融費用控除後)	26.1	24.7	16.2	30.9	34.5	+12%	+32%
金融費用以外の費用	15.8	15.8	15.6	16.5	16.4	-1%	+3%
税前利益	10.3	8.9	0.6	14.4	18.1	+26%	+76%

運用資産残高(ネット)²

(兆円)



決算のポイント

- 収益: 345億円 (前四半期比12%増、前年同期比32%増)
- 税前利益: 181億円 (前四半期比26%増、前年同期比76%増)
- 前四半期比、前年同期比ともに増収増益
 - － 運用報酬は引き続き堅調 ～12四半期連続で資金流入が継続、運用資産残高は過去2番目の水準
 - － アメリカン・センチュリー・インベストメンツ(以下、ACI)関連損益が貢献

投資信託ビジネス

- ETFに資金流入が継続し、残高は過去最高(6月末:17.2兆円、シェア45%)
- 野村ACI先進医療インパクト投資や確定拠出年金(DC)専用投信に継続的に資金が流入
- 一方で野村インド株投資ファンド等、一部の外国株ファンドから資金が流出

投資顧問及び海外ビジネス

- 国内は、公的年金からオルタナティブ投資等に資金が流入、私的年金はDC移行等の制度変更に伴い資金が流出
- 海外は、欧州で新規マンドートを獲得するも、アジアや中東の一部公的機関の解約により資金が流出

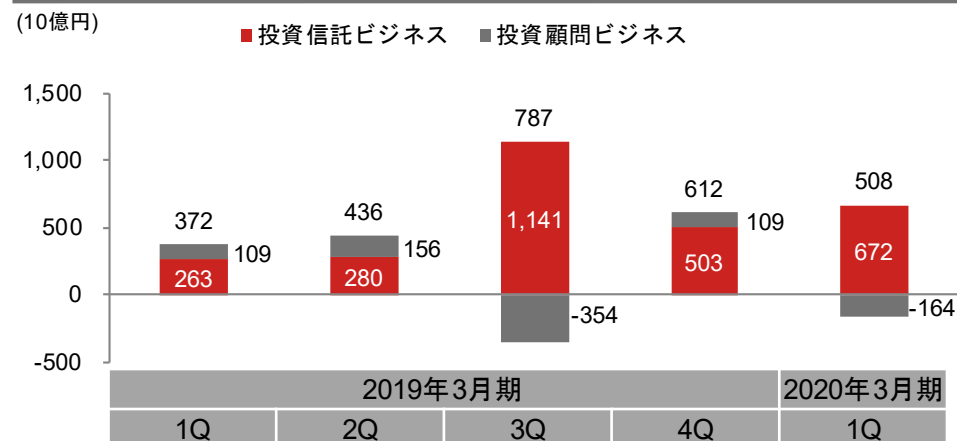
1. この表は、アセット・マネジメント部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成された米国会計原則に基づかない指標である収益(ACI関連損益を除く)およびACI関連損益の調整を示す。「ACI関連損益」には、当社が保有するACI株式の時価評価損益、ACI株式取得資金に係る利息相当額、および当社がACIから受領した配当金が含まれる

2. 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産の単純合計(グロス)から重複資産控除後

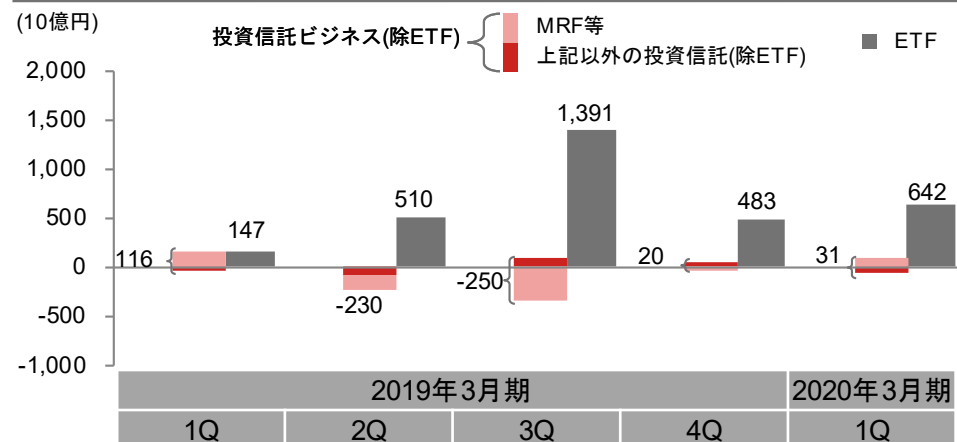
アセット・マネジメント部門: 確定拠出年金(DC)専用投信が堅調に拡大

NOMURA

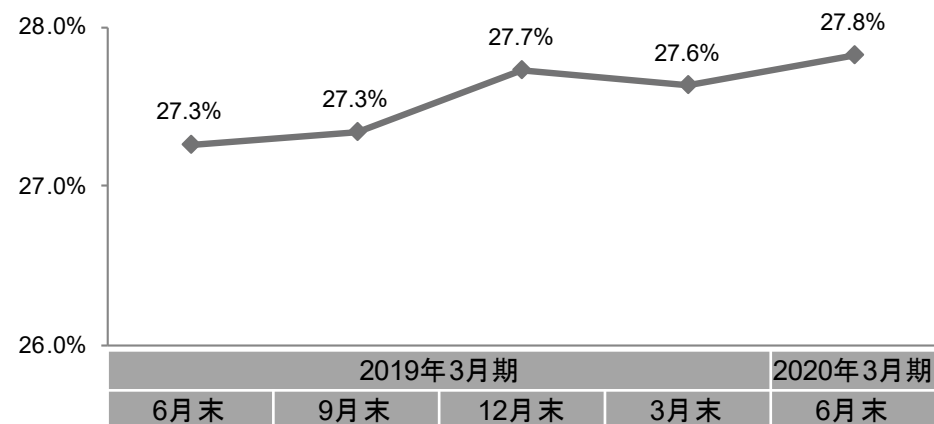
資金流出入¹



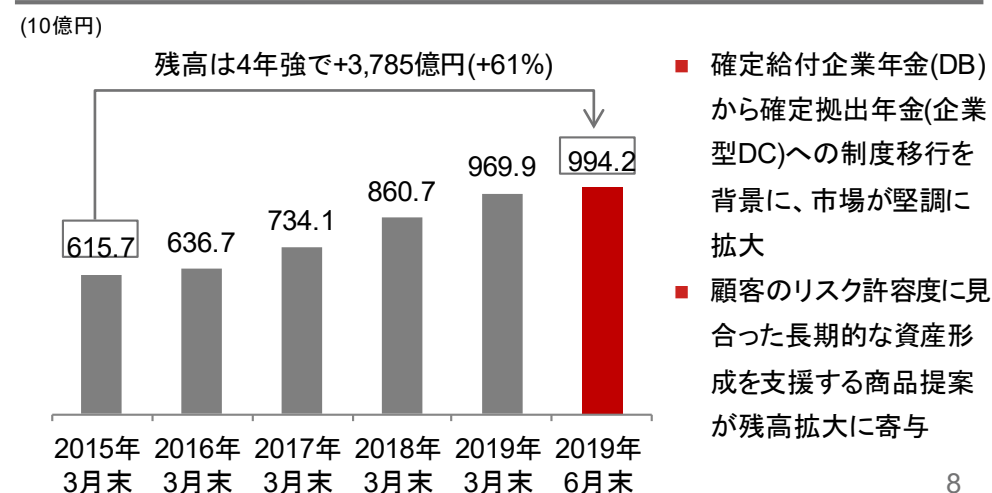
投資信託ビジネスの資金流出入内訳¹



野村アセットマネジメントの公募投信シェア²



確定拠出年金(DC)専用投信



1. 運用資産残高(ネット)に基づく

2. 出所: 投資信託協会

ホールセール部門

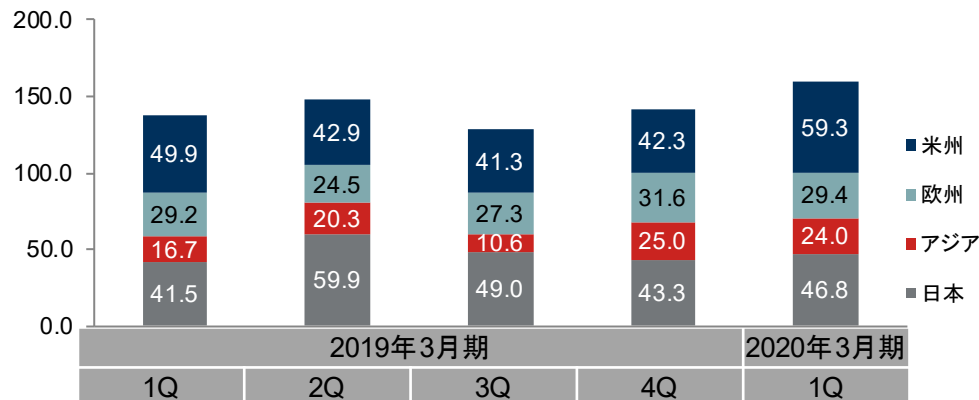
収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)¹

(10億円)

	2019年3月期				2020年 3月期	前四 半期比	前年 同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
グローバル・マーケット	112.2	123.8	103.5	113.6	135.7	+20%	+21%
インベストメント・バンキング	25.1	23.9	24.7	28.6	23.7	-17%	-5%
収益合計(金融費用控除後)	137.3	147.7	128.2	142.2	159.5	+12%	+16%
金融費用以外の費用	144.7	142.7	224.1	155.3	139.5	-10%	-4%
税前利益/損失	-7.4	4.9	-95.9	-13.0	20.0	-	-

地域別収益

(10億円)



決算のポイント

- 収益: 1,595億円 (前四半期比12%増、前年同期比16%増)
- 税前利益: 200億円

- グローバル・マーケット収益の回復により、前四半期比、前年同期比ともに増収
 - 米州フィクスト・インカムが大幅増収、日本は復調、米州エクイティも健闘
 - インベストメント・バンキングは、複数の大型M&A完了案件が貢献した前四半期比で減収
- 前四半期に計上されていた一時費用²の剥落や、コーポレート部門からの配賦費用低下等で、部門コストは減少

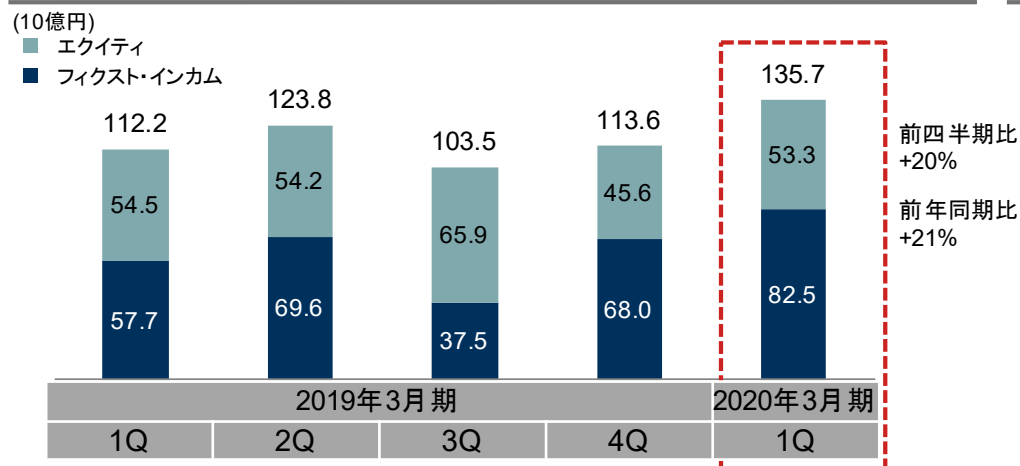
地域別収益(前四半期比、前年同期比)

- 米州: 593億円(40%増、19%増)
 - 過去5四半期で最高の四半期収益 ~金利プロダクトの貢献により、フィクスト・インカム収益は高水準、エクイティはデリバティブが回復
- 日本: 468億円(8%増、13%増)
 - クレジットを中心にフィクスト・インカムが回復し、前四半期比で増収
- 欧州: 294億円(7%減、1%増)
 - フィクスト・インカムは好調だった前四半期比で若干の減収となるも、金利を中心に引き続き堅調
- アジア: 240億円(4%減、44%増)
 - フィクスト・インカムは好調だった前四半期比で減収も、為替/エマージングやクレジットは引き続き堅調

1. この表は、ホールセール部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成された米国会計原則に基づかないグローバル・マーケットおよびインベストメント・バンキングに係る指標の調整を示す
 2. ビジネス・ポートフォリオの見直しに伴う退職金など(84億円)

ホールセール部門: グローバル・マーケット

収益合計(金融費用控除後)



決算のポイント

- 収益: 1,357億円 (前四半期比20%増、前年同期比21%増)

- 米州フィクスト・インカムが大幅増収、日本は復調
- エクイティも米州デリバティブの回復を受けて増収

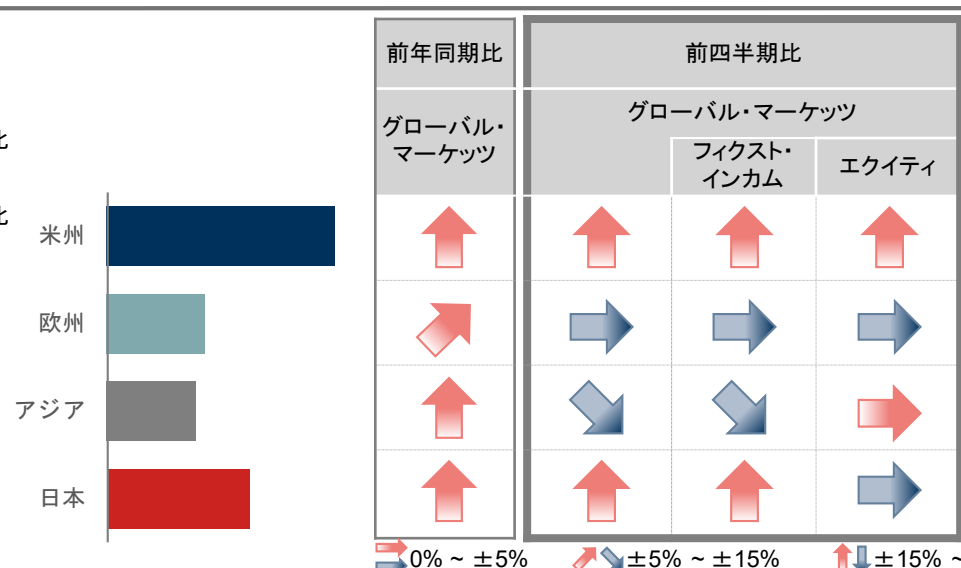
フィクスト・インカム

- 収益: 825億円 (前四半期比21%増、前年同期比43%増)
- 金利プロダクトが好調～金利低下局面を的確に捉え、エージェンシーモーゲージビジネスが拡大
- クレジット等のスプレッド・プロダクトも収益が回復

エクイティ

- 収益: 533億円 (前四半期比17%増、前年同期比2%減)
- 顧客アクティビティの増加によりデリバティブが堅調

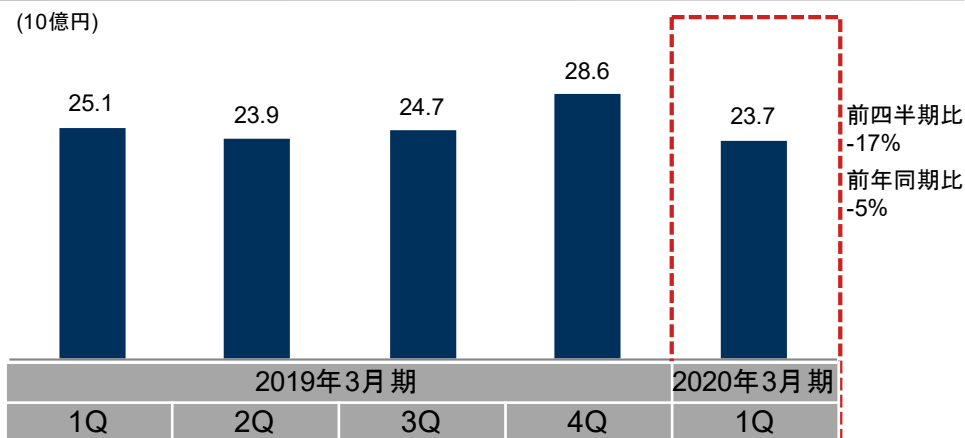
2020年3月期第1四半期 地域別収益



- 米州: フィクスト・インカム収益は10四半期ぶりの高水準、エクイティはデリバティブが好調
- 欧州: 前四半期比でやや減収となるも、金融政策を背景とする顧客アクティビティやボラティリティの増加を背景に金利ビジネスが堅調
- アジア: 好調だった前四半期比で減収も、為替/エマージングやクレジットは引き続き堅調、エクイティはデリバティブが増収
- 日本: エクイティは顧客フローの減少によりキャッシュが減収、フィクスト・インカムはクレジット・プロダクトの需要が増加

ホールセール部門: インベストメント・バンキング

収益合計(金融費用控除後)¹



決算のポイント

- 収益: 237億円(前四半期比17%減、前年同期比5%減)
 - 日本・海外ともに、複数の大型M&A完了案件があった前四半期から減収
 - 前年同期比ではグローバルな収益機会の減少により減収、一方で、M&Aや買収/レバレッジド・ファイナンスは増収
 - ✓ アジアを中心とするクロスボーダーM&A案件や、複合化案件等が貢献
- 日本:
 - 伝統的なファイナンス・ビジネスは前四半期比ほぼ横ばい
 - M&A収益は好調だった前四半期比で減収となるも、引き続き、堅調
- 海外:
 - 米州を中心に、フィナンシャル・スポンサー等が絡む買収/レバレッジド・ファイナンス案件が収益に貢献

クロスボーダーM&A案件、高プロファイル案件を多数獲得

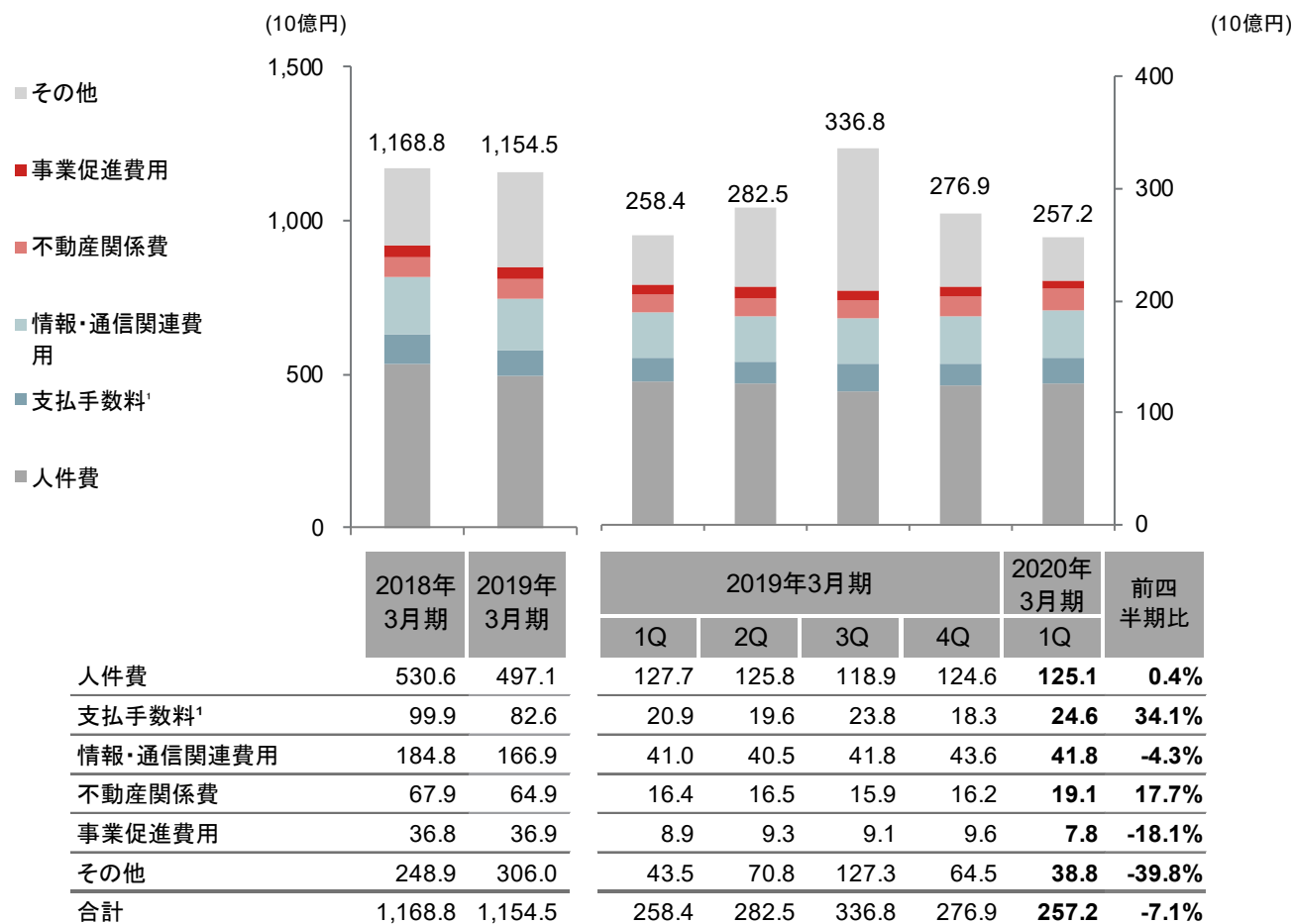
M&A	日本ペイントホールディングスによるDuluxGroup(豪)の買収(\$2.9bn)	東海カーボンによるCOBEX(独)の買収(€822m)
	Hillhouse Capital Management(中)によるLoch Lomond Distillery(英)の買収(非開示)	武田薬品工業によるTachoSilのJohnson & Johnson(米)への売却(\$400m)
	ソフトバンクによるヤフージャパンの株式取得、およびヤフージャパンによる自社株公開買付け(4,565億円/5,265億円)	トヨタホームの株式交換によるミサワホームの完全子会社化、およびトヨタ自動車とパナソニックの街づくり関連事業の統合・合併会社設立(221億円/非開示)
ファイナンス	Sansan IPO(389億円)	ソフトバンクグループリテール債(5,000億円)
	Hellman & Friedman(米)によるUltimate Software Group(米)の買収に付随するファイナンス(\$3.5bn)	Apax Partners(米)によるTrade Me(ニュージーランド)の買収に付随するファイナンス(\$846m)
	Chew y(米) IPO(\$1.0bn)	イタリアベンチマーク債(€6.0bn)

金融費用以外の費用

通期

四半期

決算のポイント



■ 金融費用以外の費用: 2,572億円
(前四半期比7%減)

- 人件費(前四半期比0.4%増)
✓ 業績に応じて賞与引当金が増加
- ✓ 一方で、前四半期に計上したビジネス・ポートフォリオ見直しに伴う一時費用(103億円)は剥落
- 不動産関係費(前四半期比18%増)
✓ 国内店舗の統合に伴う一時費用(26億円)を計上
- その他(前四半期比40%減)
✓ 過去の取引事案等に係る法的費用の減少
- ✓ 弁護士等の専門家報酬も減少

強固な財務基盤を維持

バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

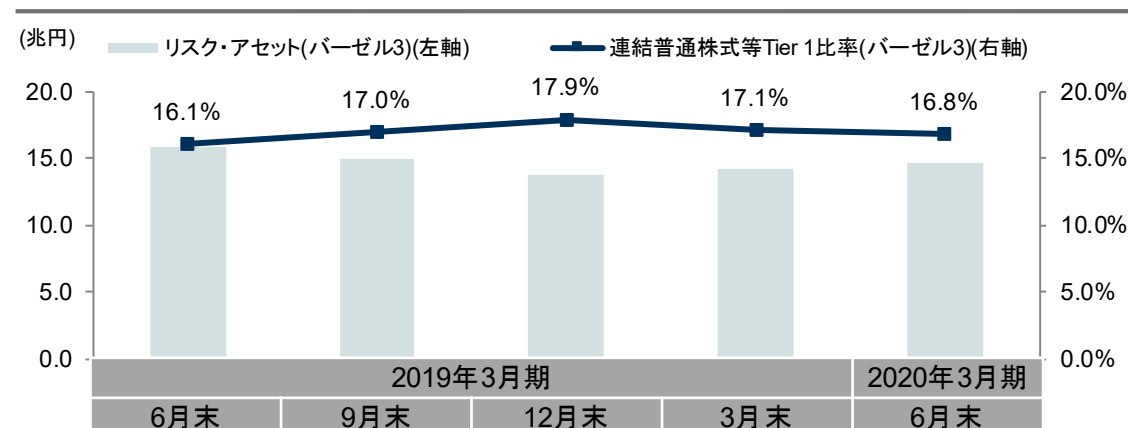
	2019年 3月末	2019年 6月末
■ 資産合計	41.0兆円	42.5兆円
■ 当社株主資本	2.6兆円	2.7兆円
■ グロス・レバレッジ	15.6倍	16.0倍
調整後レバレッジ ¹	9.0倍	10.0倍
■ レベル3資産 ² (デリバティブ負債相殺後)	0.6兆円	0.6兆円
■ 流動性ポートフォリオ	4.9兆円	4.8兆円

(10億円)

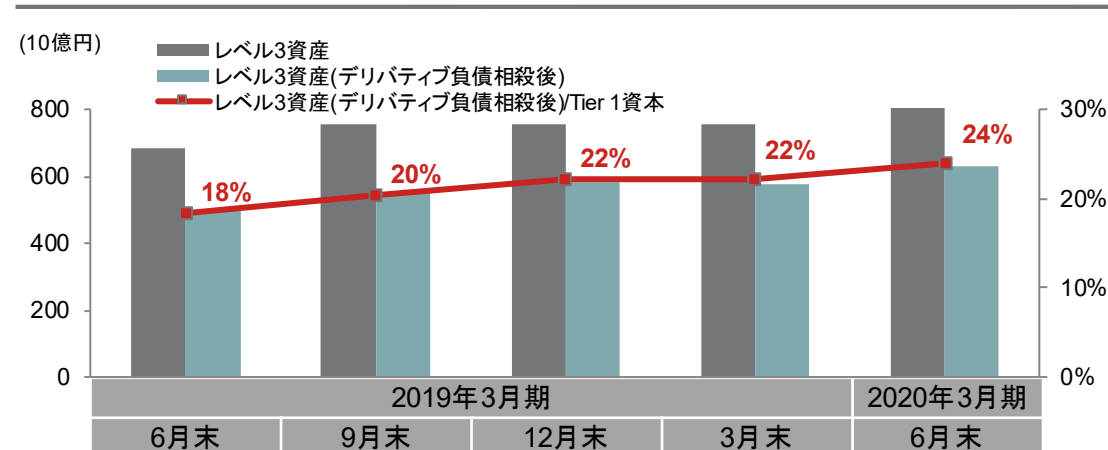
バーゼル3ベース	2019年 3月末	2019年 6月末 ²
Tier 1資本	2,606	2,642
Tier 2資本	46	46
総自己資本の額	2,652	2,688
リスク・アセット	14,252	14,652
連結Tier 1比率	18.2%	18.0%
連結普通株式等Tier 1比率 ³	17.1%	16.8%
連結総自己資本規制比率	18.6%	18.3%
連結レバレッジ比率 ⁴	5.03%	5.06%
適格流動資産(HQLA) ⁵	4.3兆円	4.2兆円
連結流動性カバレッジ比率(LCR) ⁵	198.4%	188.4%

- 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
- 2019年6月末は暫定数値
- 連結普通株式等Tier 1比率: Tier 1資本から、その他Tier 1資本を控除し、リスク・アセットで除したものの
- Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したものの
- 四半期の日次平均の値

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率³



レベル3資産²の推移、Tier 1資本に対する比率



資金調達と流動性

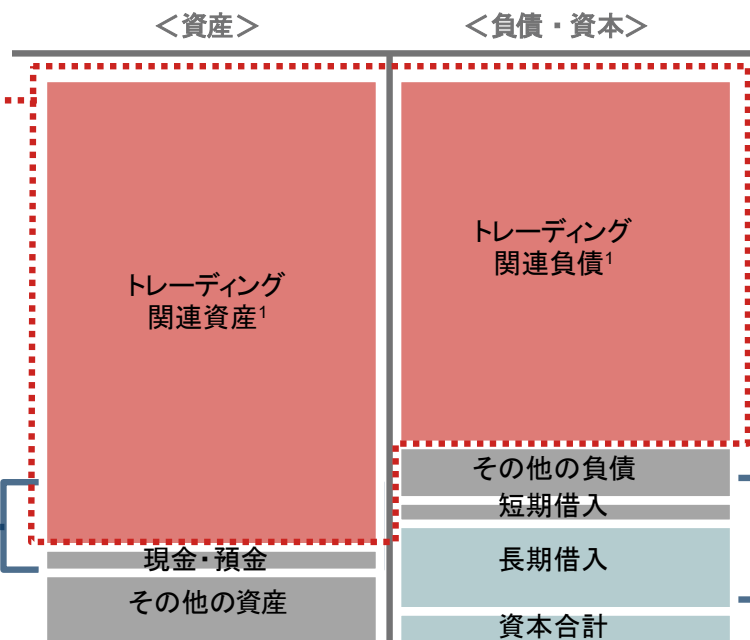
バランスシート構造

貸借対照表
(2019年6月 末現在)

- 流動性の高い、健全なバランスシート構造
 - 資産の77%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連負債とマッチング(地域、通貨)
 - その他の資産は、資本及び長期負債で調達しており、構造的に安定

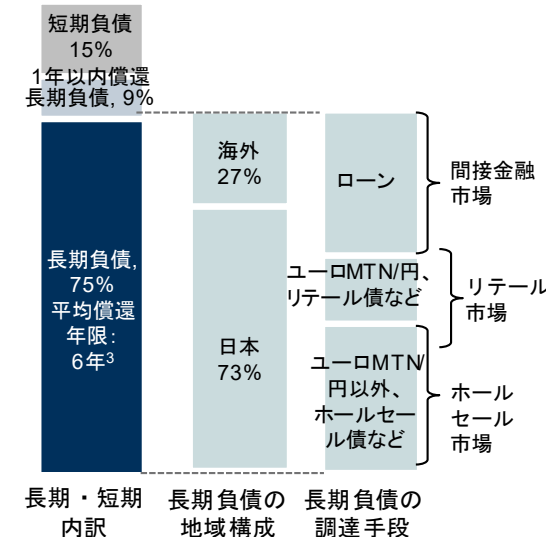
流動性ポートフォリオ²

- 流動性ポートフォリオ:
 - 4.8兆円、総資産の11%
 - 新たな無担保資金調達に頼らず、一定期間、事業継続可能な高い流動性を常時保持



無担保調達資金²

- 無担保調達資金の8割弱が長期負債
- 調達先は分散



1. トレーディング関連資産: リバース・レポ、証券、デリバティブ等 トレーディング関連負債: レポ、負債証券、デリバティブ等
 2. 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない
 3. 1年以内償還長期負債を除く。ストレステストでの早期償還確率を織り込む

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)

	2019年 3月末	2019年 6月末	前期比 増減
資産			
現金・預金	3,262	3,077	-184
貸付金および受取債権	3,882	4,173	291
担保付契約	17,307	16,036	-1,271
トレーディング資産 ¹ および プライベート・エクイティ投資	14,386	16,851	2,465
その他の資産	2,133	2,396	263
資産合計	40,969	42,533	1,563

	2019年 3月末	2019年 6月末	前期比 増減
負債			
短期借入	842	750	-91
支払債務および受入預金	3,768	3,570	-198
担保付調達	16,684	18,342	1,657
トレーディング負債	8,220	8,181	-38
その他の負債	859	1,056	197
長期借入	7,916	7,907	-9
負債合計	38,289	39,806	1,517
資本			
当社株主資本合計	2,631	2,663	32
非支配持分	50	64	14
負債および資本合計	40,969	42,533	1,563

1. 担保差入有価証券を含む

バリュー・アット・リスク

■ VaRの前提

- 信頼水準 : 99%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

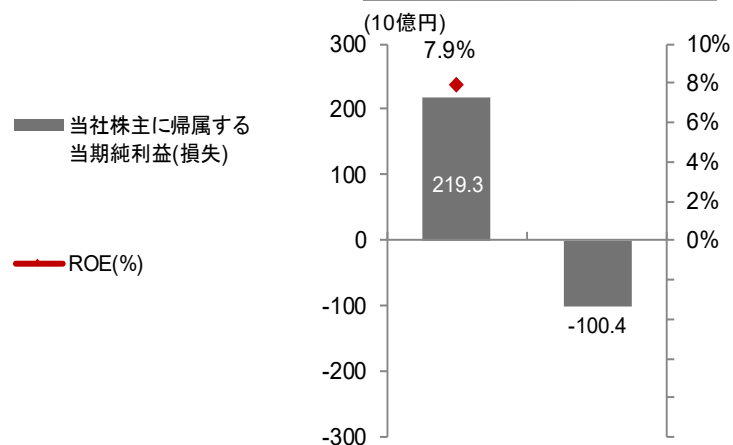
■ VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2019.4.1~2019.6.30
- 最大 : 6.6
- 最小 : 3.6
- 平均 : 4.9

(10億円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年 3月期
	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
株式関連	1.2	1.1	2.2	2.1	1.1	1.1	1.2
金利関連	3.1	2.8	2.9	2.9	3.5	2.8	3.1
為替関連	3.2	1.9	2.3	2.2	1.7	1.9	3.2
小計	7.5	5.8	7.4	7.2	6.3	5.8	7.5
分散効果	-1.1	-1.3	-2.9	-2.7	-1.4	-1.3	-1.5
連結VaR	6.4	4.5	4.5	4.5	4.9	4.5	6.0

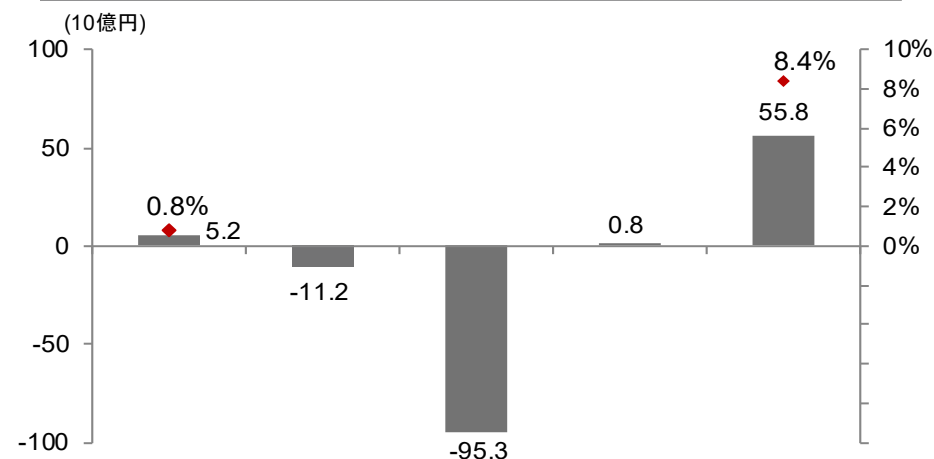
連結決算概要

通期



	2018年 3月期	2019年 3月期
収益合計(金融費用控除後)	1,497.0	1,116.8
税引前当期純利益(損失)	328.2	-37.7
当社株主に帰属する 当期純利益(損失)	219.3	-100.4
当社株主資本合計	2,749.3	2,631.1
ROE(%) ¹	7.9%	-
1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	63.13	-29.90
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	61.88	-29.92
1株当たり株主資本(円)	810.31	794.69

四半期



	2019年3月期				2020年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
収益合計	272.0	282.9	260.6	301.3	332.0
税引前当期純利益	13.6	0.5	-76.2	24.4	74.8
当社株主に帰属する 当期純利益	5.2	-11.2	-95.3	0.8	55.8
当社株主資本合計	2,797.2	2,800.8	2,662.9	2,631.1	2,662.7
ROE(%)	0.8%	-	-	-	8.4%
1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(円)	1.54	-3.31	-28.52	0.25	16.83
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(円)	1.50	-3.32	-28.52	0.23	16.48
1株当たり株主資本(円)	822.88	828.02	805.07	794.69	800.87

1. 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

連結損益

(10億円)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
収益							
委託・投信募集手数料 ¹	373.3	293.1	79.5	74.8	72.7	66.1	68.2
投資銀行業務手数料	101.7	101.5	24.0	19.1	33.1	25.3	27.3
アセットマネジメント業務手数料	245.6	245.5	63.0	62.7	60.6	59.2	60.0
トレーディング損益	442.9	343.0	71.9	75.8	96.9	98.4	112.8
プライベート・エクイティ投資関連損益	-0.9	1.0	0.6	0.3	0.5	-0.3	0.8
金融収益	585.7	777.0	169.6	188.7	214.5	204.1	199.5
投資持分証券関連損益	2.7	-7.0	2.1	-1.1	-9.9	1.9	-2.8
その他	221.2	81.1	20.5	28.1	-11.1	43.7	45.7
収益合計	1,972.2	1,835.1	431.0	448.4	457.4	498.4	511.4
金融費用	475.2	718.3	159.0	165.5	196.8	197.1	179.4
収益合計(金融費用控除後)	1,497.0	1,116.8	272.0	282.9	260.6	301.3	332.0
金融費用以外の費用 ¹	1,168.8	1,154.5	258.4	282.5	336.8	276.9	257.2
税引前当期純利益(損失)	328.2	-37.7	13.6	0.5	-76.2	24.4	74.8
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	219.3	-100.4	5.2	-11.2	-95.3	0.8	55.8

1. 2018年4月より、会計基準アップデート第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用したことに伴い、一定の取引執行にかかる収益と関連費用を総額表示から純額表示に変更

連結決算：主な収益の内訳

		通期		四半期				
(10億円)		2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
委託・投信 募集手数料	委託手数料-株式 ¹	243.8	192.0	50.2	47.4	50.5	43.9	42.6
	委託手数料-株式以外	17.0	14.4	4.1	3.4	4.3	2.5	2.7
	投信募集手数料	85.7	56.6	17.8	15.6	11.5	11.7	16.4
	その他手数料	26.9	30.0	7.3	8.4	6.4	8.0	6.4
	合計	373.3	293.1	79.5	74.8	72.7	66.1	68.2
投資銀行 業務手数料	株式	23.2	30.0	5.8	5.9	14.7	3.6	3.1
	債券	16.3	22.7	6.2	4.6	6.6	5.3	6.8
	M&A・財務コンサルティングフィー	39.3	33.2	7.3	5.6	7.3	13.0	10.6
	その他	22.9	15.5	4.7	3.0	4.5	3.4	6.9
	合計	101.7	101.5	24.0	19.1	33.1	25.3	27.3
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	170.4	168.7	43.6	43.4	41.5	40.2	40.3
	アセット残高報酬	57.9	61.0	15.2	15.3	15.2	15.2	15.7
	カストディアルフィー	17.3	15.8	4.1	4.0	3.9	3.9	4.0
	合計	245.6	245.5	63.0	62.7	60.6	59.2	60.0

1. 2018年4月より、会計基準アップデート第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用したことに伴い、一定の取引執行にかかる収益と関連費用を総額表示から純額表示に変更

連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)

(10億円)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業部門	103.1	49.5	19.9	12.2	14.0	3.3	8.1
アセット・マネジメント部門 ¹	66.2	34.2	10.3	8.9	0.6	14.4	18.1
ホールセール部門	100.6	-111.4	-7.4	4.9	-95.9	-13.0	20.0
3セグメント合計税前利益	269.9	-27.7	22.8	26.0	-81.3	4.7	46.3
その他 ¹	56.4	-2.8	-11.2	-24.5	15.1	17.8	31.5
セグメント合計税前利益	326.3	-30.5	11.6	1.6	-66.2	22.5	77.7
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	1.9	-7.2	2.0	-1.1	-10.0	1.8	-2.9
税前利益(損失)	328.2	-37.7	13.6	0.5	-76.2	24.4	74.8

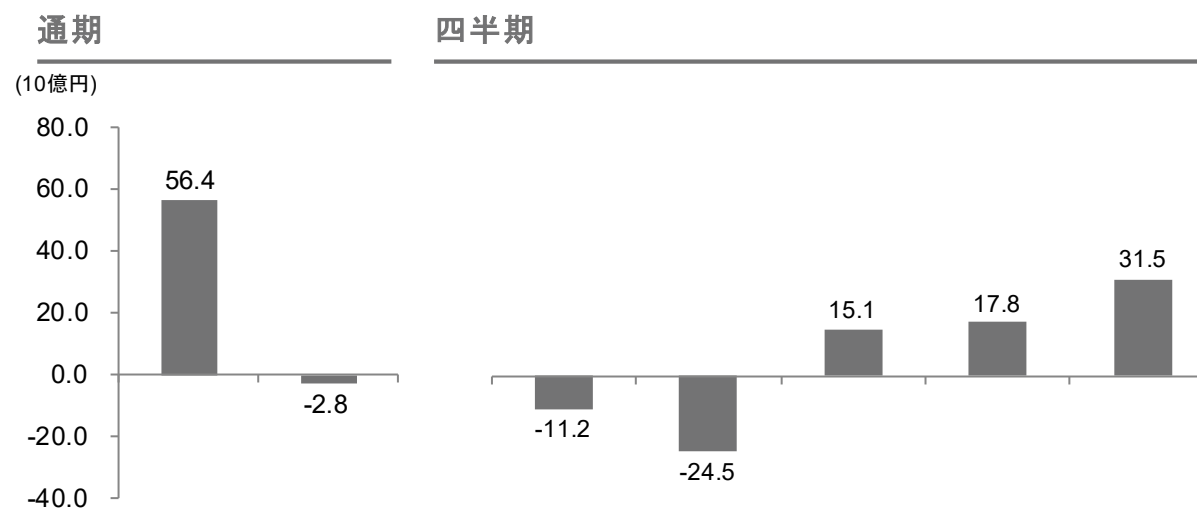
地域別情報:税前利益(損失)²

(10億円)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
米 州	-8.8	-114.1	-1.7	-21.6	-87.1	-3.7	14.3
欧 州	-14.7	-56.9	-5.2	-11.6	-14.5	-25.5	4.5
アジア・オセアニア	22.8	5.0	-0.8	1.0	-3.9	8.7	11.6
海外合計	-0.7	-165.9	-7.7	-32.2	-105.5	-20.5	30.4
日本	328.8	128.2	21.3	32.6	29.4	44.9	44.4
税前利益(損失)	328.2	-37.7	13.6	0.5	-76.2	24.4	74.8

1. 2019年3月期1Qより、従来アセット・マネジメント部門に含めていた野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーをセグメント「その他」に移行 2. 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載(但し当第1四半期の数値は速報値)。
米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント「その他」

税前利益(損失)



	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	-6.5	1.8	-13.8	-16.0	25.1	6.6	12.8
営業目的で保有する投資持分証券 の実現損益	0.8	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
関連会社損益の持分額	34.2	32.5	6.6	8.5	1.4	15.9	8.3
本社勘定	-41.9	-36.0	-2.5	-23.7	0.6	-10.4	1.4
その他	69.7	-1.3	-1.6	6.7	-12.2	5.7	8.9
税前利益(損失)	56.4	-2.8	-11.2	-24.5	15.1	17.8	31.5

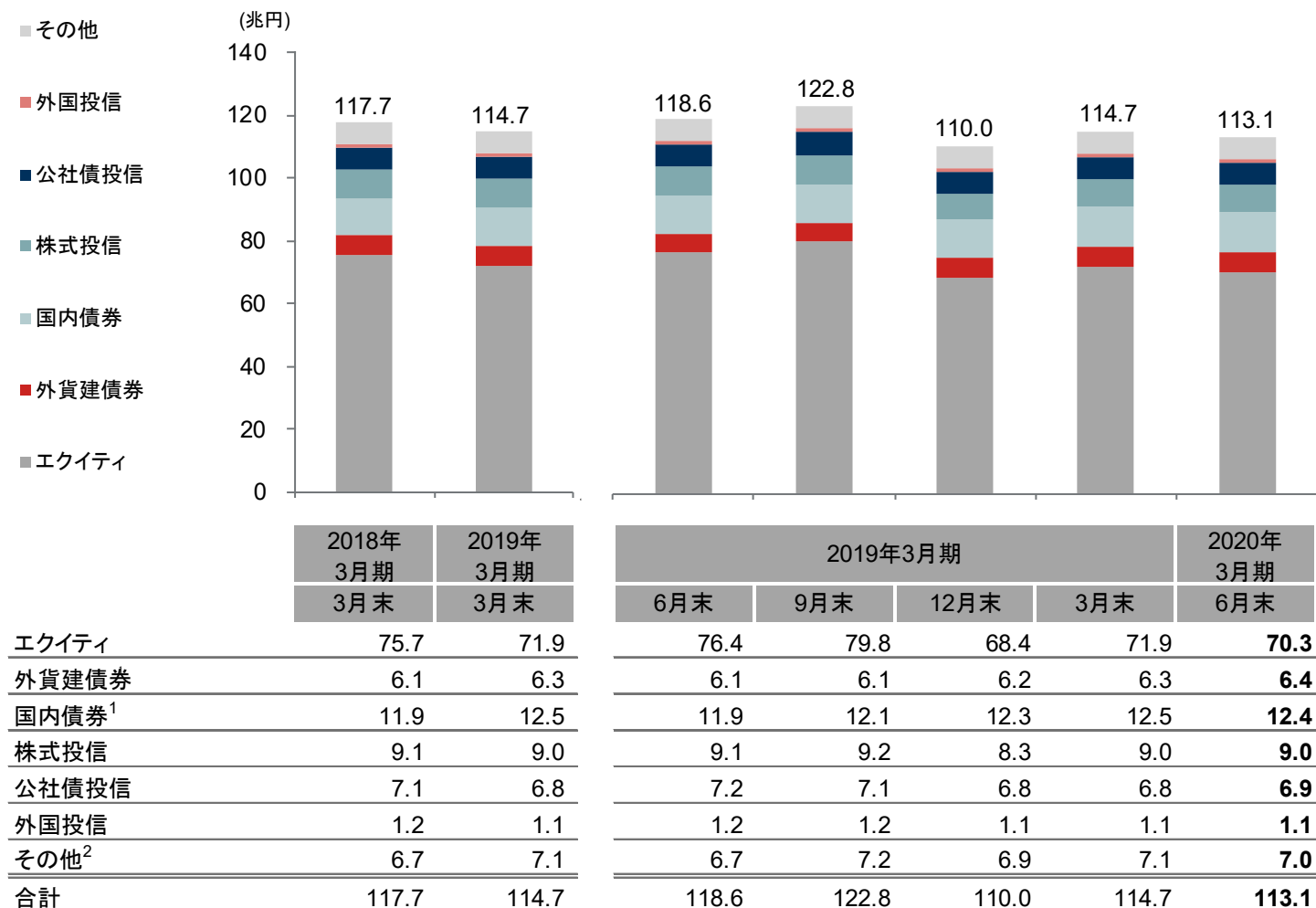
営業部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期		
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
委託・投信募集手数料	192.7	142.8	40.8	36.8	34.1	31.0	34.5	11.0%	-15.5%
うち株式委託手数料	82.2	60.2	16.8	15.3	15.8	12.2	12.5	2.0%	-25.9%
うち投資信託募集手数料	87.1	57.9	18.5	15.6	11.7	12.1	16.5	36.8%	-10.5%
販売報酬	91.5	55.8	18.9	15.5	10.9	10.5	14.9	42.0%	-21.4%
投資銀行業務手数料等	26.0	34.0	6.0	7.0	14.3	6.7	5.6	-16.0%	-5.7%
投資信託残高報酬等	93.6	95.4	24.4	24.0	23.6	23.4	23.4	0.0%	-4.1%
純金融収益等	9.2	11.5	2.8	2.4	3.8	2.6	2.3	-10.6%	-16.8%
収益合計(金融費用控除後)	412.9	339.5	92.8	85.7	86.8	74.2	80.6	8.7%	-13.1%
金融費用以外の費用	309.8	290.0	72.9	73.5	72.7	70.9	72.5	2.4%	-0.5%
税前利益	103.1	49.5	19.9	12.2	14.0	3.3	8.1	145.9%	-59.3%
国内投信販売金額 ¹	3,610.5	2,423.7	747.6	648.8	527.5	499.8	741.5	48.3%	-0.8%
公社債投信	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
株式投信	3,198.6	2,130.8	669.1	583.6	451.7	426.4	618.8	45.1%	-7.5%
外国投信	411.9	292.9	78.5	65.2	75.8	73.4	122.7	67.1%	56.3%
その他									
年金保険契約累計額(期末)	3,094.5	3,260.7	3,139.0	3,178.2	3,225.1	3,260.7	3,308.7	1.5%	5.4%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	628.1	1,022.8	312.2	206.5	237.6	266.6	296.7	11.3%	-5.0%
リテール外債販売額	1,249.9	848.9	234.6	211.0	193.1	210.1	222.0	5.7%	-5.4%

1. 旧ネット&コールを除く。尚、2018年3月期4Q以降は、旧ネット&コールを含む

営業部門関連データ(2)

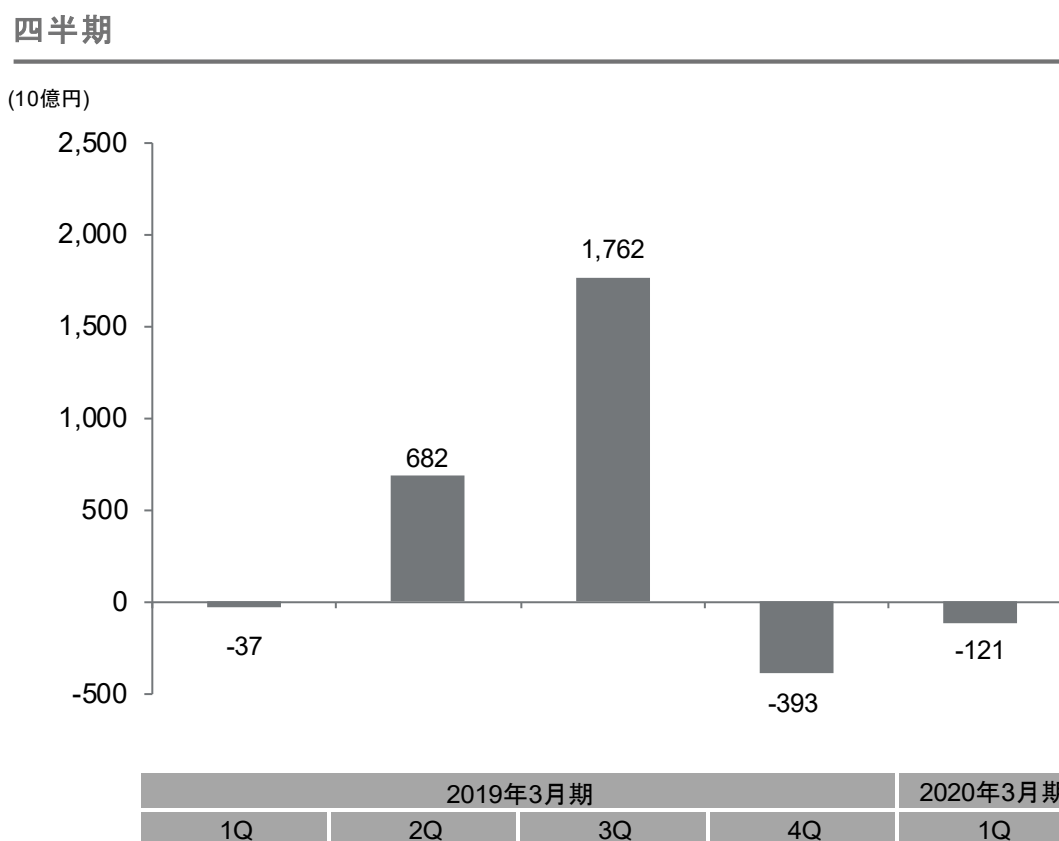
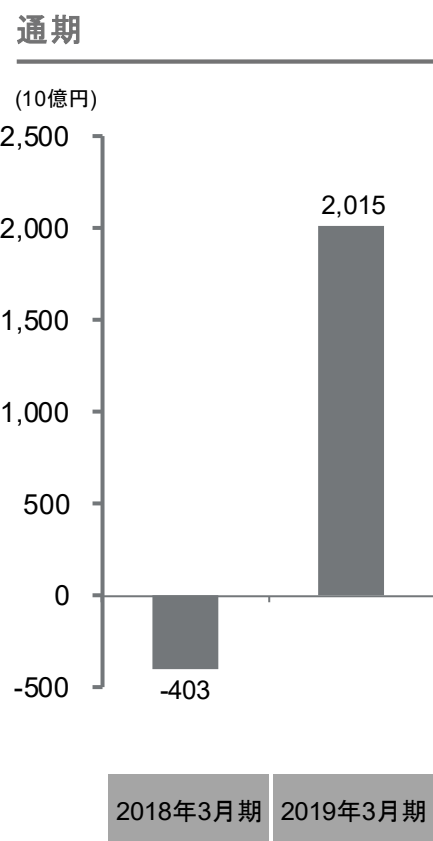
営業部門顧客資産残高¹



1. CB・ワラントを含む 2. 年金保険契約資産残高を含む

営業部門関連データ(3)

現金本券差引¹



1. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

営業部門関連データ(4)

口座数

(千口座)	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期				2020年3月期
	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
残あり顧客口座数	5,318	5,338	5,318	5,318	5,354	5,338	5,335
株式保有口座数	2,822	2,908	2,823	2,829	2,905	2,908	2,914
オンラインサービス口座数 ¹	4,387	4,569	4,427	4,470	4,526	4,569	4,601

個人新規開設口座数・IT比率¹

(千口座)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
個人新規開設口座数	231	257	58	65	73	60	49
IT比率 ²							
売買件数ベース	67%	78%	78%	78%	77%	80%	79%
売買金額ベース	43%	53%	53%	54%	53%	53%	53%

1. 2018年1月にネット&コール及びホームトレードを統合し、「オンラインサービス」として新たにサービス提供を開始

2. 現物株のうち、旧ホームトレードを通じて売買された割合。尚、2018年3月期4Q以降は、現物株のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合

アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	通期 ¹		四半期 ¹						
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期	前四 半期比	前年 同期比
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益(除: ACI関連損益)	105.3	102.9	26.3	26.1	24.5	26.0	25.8	-0.6%	-1.7%
ACI関連損益	22.1	-5.0	-0.2	-1.5	-8.3	4.9	8.7	76.9%	-
収益合計(金融費用控除後)	127.3	97.8	26.1	24.7	16.2	30.9	34.5	11.7%	32.2%
金融費用以外の費用	61.2	63.7	15.8	15.8	15.6	16.5	16.4	-0.7%	3.5%
税前利益	66.2	34.2	10.3	8.9	0.6	14.4	18.1	25.7%	76.4%

運用資産残高 - 会社別

(兆円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年 3月期
	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
野村アセットマネジメント	52.4	53.4	53.1	55.1	50.2	53.4	53.4
野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー	2.8	-	-	-	-	-	-
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント	2.7	3.0	2.8	2.9	2.6	3.0	3.0
運用資産残高(グロス) ²	57.8	56.4	55.9	58.0	52.9	56.4	56.4
グループ会社間の重複資産	7.8	5.0	5.1	5.2	4.5	5.0	4.8
運用資産残高(ネット) ³	50.0	51.4	50.8	52.8	48.3	51.4	51.6

1. この表は、アセット・マネジメント部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成された米国会計原則に基づかない指標である収益(ACI関連損益を除く)およびACI関連損益の調整を示す。「ACI関連損益」には、当社が保有するACI株式の時価評価損益、ACI株式取得資金に係る利息相当額、および当社がACIから受領した配当金が含まれる。2019年3月期1Q以降は、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーを含まない。

2. 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産の単純合計。2018年6月末以降は、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーを含まない。

3. 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

アセット・マネジメント部門関連データ(2)

アセット・マネジメント部門 資金流入－ビジネス別¹

(10億円)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
投資信託ビジネス	3,131	2,187	263	280	1,141	503	672
うちETF	3,022	2,531	147	510	1,391	483	642
投資顧問ビジネス	203	20	109	156	-354	109	-164
資金流入 合計	3,334	2,207	372	436	787	612	508

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア²

(兆円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年 3月期
	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
国内公募株式投信残高							
マーケット	96.9	101.5	99.1	103.8	93.6	101.5	101.9
野村アセットマネジメントシェア	25%	26%	25%	25%	26%	26%	26%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	12.3	11.6	12.6	12.5	11.6	11.6	11.7
野村アセットマネジメントシェア	44%	45%	44%	44%	45%	45%	44%
ETF残高							
マーケット	32.5	37.4	34.2	37.4	33.6	37.4	38.2
野村アセットマネジメントシェア	46%	45%	45%	45%	45%	45%	45%

1. 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入 2. 出所: 投資信託協会

ホールセール部門関連データ

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期		
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益合計(金融費用控除後)	715.3	555.4	137.3	147.7	128.2	142.2	159.5	12.1%	16.2%
金融費用以外の費用	614.7	666.8	144.7	142.7	224.1	155.3	139.5	-10.2%	-3.6%
税前利益(損失)	100.6	-111.4	-7.4	4.9	-95.9	-13.0	20.0	-	-

ホールセール部門 収益の内訳¹

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年3月期		
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
フィクスト・インカム	341.6	232.8	57.7	69.6	37.5	68.0	82.5	21.2%	43.0%
エクイティ	261.6	220.2	54.5	54.2	65.9	45.6	53.3	16.9%	-2.3%
グローバル・マーケット	603.2	453.0	112.2	123.8	103.5	113.6	135.7	19.5%	21.0%
インベストメント・バンキング	112.1	102.3	25.1	23.9	24.7	28.6	23.7	-17.1%	-5.4%
収益合計(金融費用控除後)	715.3	555.4	137.3	147.7	128.2	142.2	159.5	12.1%	16.2%

1. 2018年4月の組織再編に伴い、2018年3月期のフィクスト・インカム、エクイティおよびインベストメント・バンキング収益を組み替えて表示

2. この表は、ホールセール部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成され、米国会計原則に基づかないグローバル・マーケットおよびインベストメント・バンキングに係る指標の調整を示す

人員数

	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期				2020年 3月期
	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
日本	15,819	15,852	16,474	16,296	16,138	15,852	16,423
欧州	3,057	2,909	3,030	3,020	2,963	2,909	2,775
米州	2,362	2,357	2,364	2,390	2,384	2,357	2,230
アジア・オセアニア ¹	6,810	6,746	6,873	6,843	6,796	6,746	6,684
合計	28,048	27,864	28,741	28,549	28,281	27,864	28,112

1. インド(ボワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2020年3月期第1四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります、また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<https://www.nomura.com/jp/>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/